令和4年 第5回全員協議会会議録

令和4年3月28日 議員控室

○事 件

町長報告事項

(1) 八雲町サーモン種苗生産施設条例の制定について (産業課)

○出席議員 (13名)

議長 千 葉 隆 君
赤 井 睦 美 君
横 田 喜世志 君
関 口 正 博 君
倉 地 清 子 君
安 藤 辰 行 君
能登谷 正 人 君

副議長 黒 島 竹 満 君
佐 藤 智 子 君
大久保 建 一 君
宮 本 雅 晴 君
三 澤 公 雄 君
斎 藤 實 君

○欠席議員 (1名)

牧 野 仁 君

○出席説明員 (6名)

町長 岩 村 克 詔 君
総務課長 竹 内 友 身 君
産業課長 吉 田 一 久 君
海洋深層水推進係長 黒 丸 勤 君

副町長 成 田 耕 治 君
財務課長 川 崎 芳 則 君
水産技術主幹 田 畑 司 男 君
水産課長 田 村 春 夫 君

○出席事務局職員

事務局長 三 澤 聡 君
庶務係長 松 田 力 君

事務局次長 成 田 真 介 君

◎ 開会・議長挨拶

○議長（千葉 隆君） それではおはようございます。会議前にお呼びだてして申し訳ございません。

本日は牧野議員さんが欠席ということですので、よろしく願いいたします。

◎ 町長報告事項

○議長（千葉 隆君） それでは早速、町長報告事項をお願いいたします。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） このたび大変お忙しい中、また定例会のあと3月と異例に全員協議会並びに議会を招集いただきありがとうございます。

まずは、本来であれば定例会で条例を制定して予算を通すところ、私たちの不手際によって条例を通さないで、予算を通してしまったということで緊急的に4月1日にということでありますので、今回条例をとということです。まずもってこの件については、大変ご迷惑をかけたことに対しまして、深くお詫びを申し上げたいと思います。

それでは内容について担当課より説明させますので、よろしく願いいたします。

○産業課長（吉田一久君） 議長、産業課長。

○議長（千葉 隆君） 産業課長。

○産業課長（吉田一久君） それでは、お手元の資料によりましてご報告させていただきます。内容については八雲町サーモン種苗生産施設条例の制定についてでございます。

この条例の制定につきましては、北海道から、さけます内水面水産試験場道南支場の譲渡を受けまして、当該施設においてサーモン種苗生産事業を実施するため、令和4年4月1日から供用を開始することとしていることから、新たに設置条例を制定するものであります。

この条例に定める主な内容といたしましては、設置についての規定はトラウトサーモン種苗を生産供給し、サーモン養殖漁業の振興に資することを目的に設置するものであります。

名称は、八雲町熊石サーモン種苗生産施設とするものであります。またこの施設が行う業務は、サーモンのふ化、中間育成、及びサーモン種苗の供給に関すること。その他、サーモン種苗の生産供給に関することを行うこととしており、施設の管理運営は八雲町が行うこととしているところでございます。

この条例の施行日につきましては、令和4年4月1日から施行しようとして定めようとするものでございます。

以上、簡単な説明でございますが、八雲町サーモン種苗生産施設条例の説明といたしますが、このたびの案件につきましては、本来であれば先の第1回定例会で皆様にご審議いただくところでございますが、私のミスによりまして、議員皆様にご迷惑をおかけしましたことを、重ね重ねお詫び申し上げます。本当に申し訳ありませんでした。以上、説明のほうを終わらせていただきます。

○議長（千葉 隆君） それでは、報告事項について皆さんのほうから何か質問等ございませんか。

○8番（三澤公雄君） 議長、三澤。

○議長（千葉 隆君） 三澤さん。

○8番（三澤公雄君） 予算委員会のときに気づかなくて残念だったと思うんだけど、こういうものの設置条例というのは過去にこういうふうな条例を作らなければいけないというひな型が八雲町にあったのでしょうか。

○産業課長（吉田一久君） 議長、産業課長。

○議長（千葉 隆君） 産業課長。

○産業課長（吉田一久君） このたびご提案させていただいた条例の内容といたしますか、組み立ての部分でございますが、前回、熊石のほうにおかれましては、水産試験研究施設条例、これとほぼ同じような内容の組み立てになっておりますので、よろしくお願いたします。

○8番（三澤公雄君） 議長、三澤。

○議長（千葉 隆君） 三澤さん。

○8番（三澤公雄君） だとしたら、何で気付かなかったんだろう。突いて申し訳ないけど。

○産業課長（吉田一久君） 議長、産業課長。

○議長（千葉 隆君） 産業課長。

○産業課長（吉田一久君） 大変申し訳ありません。

私のほうで失念しておりまして、議会終了後にですね、正式な名前をどうしようといったときに気づいたところがございます。本当に申し訳ありませんでした。

○8番（三澤公雄君） 議長、三澤。

○議長（千葉 隆君） 三澤さん。

○8番（三澤公雄君） 岩村町長のこれまでやってきたことを見たら皆もわかっているように、思い立ったらまっしぐらという。このキャラクターを僕は今の八雲町にとって過疎から抜けだそうといういろんな自治体の中で、抜き出すためには必要なことだと思うので、周りにはいる行政マンの方が、こういうことがやっぱり見つけてもらわないと、もちろん僕ら議員もそういう役目はあるんですけども、ちょっとこういうことでね、せっかく良い政策が綻びというか、突かれることになったら残念だと思うので、これからは本当に町長の脇を固めるという意味で、新たにサーモン室はできるんでしょうけれども、また、いろんなところで新しいアイデアでいろんな施策が生まれると思いますので、職員の皆さん脇を固めていただければなど。私たち議員も気を付けますけれども、よろしくお願いたします。

○議長（千葉 隆君） ほかに。

○1番（赤井睦美君） はい。

○議長（千葉 隆君） 赤井さん。

○1番（赤井睦美君） 記憶違いでなければ、合葬墓かなにかのときも予算が先で条例ができてなくて、予算を凍結したということがあった気がする。私の記憶違いでなければ。もしかしたら合葬墓じゃないかもしれないけれども。それであればそのサーモン室ができてからでも、この年度末ギリギリに慌てて今こういうふうな条例を作るよりは、そのサーモン対策室かなんかの室ができてから改めて提案しても良かったんじゃないのかなって。なんでギリギリに大慌てでくっつけたようなかたちでやるのかなと。忘れていたことを責めているのではなくて、そんな焦ってやらなくても

せっかく対策室や専門室ができるから、それからでも良いと私は思うんですけども、その辺はどうでしょうか。

○産業課長（吉田一久君） 議長、産業課長。

○議長（千葉 隆君） 産業課長。

○産業課長（吉田一久君） この度の件については、こちらの施設について4月1日からいろいろかかる経費もございまして、予算も執行させていただくということになります。4月1日から供用を開始するということでございますので、それ以前に条例の制定が必要だということで緊急的にご提案させていただいたところでございます。本当に申し訳ありませんでした。

○1番（赤井睦美君） はい。

○議長（千葉 隆君） 赤井さん。

○1番（赤井睦美君） 謝るとかではなくて、予算特別委員会でも付帯意見としてやっぱりきちっとした丁寧な説明を望むということを付けさせていただいたと思うんですけども、予算が可決されたから慌てて4月1日から予算を執行しなければいけないという姿勢がどうも私は不安なんですよね。その予算が決まっちゃったから1日から施行してどんどん進むというよりは、やっぱり時間を掛けて説明してから進んでもいいんじゃないかと思うんですけども、もう予算が決まっちゃったから、さっさとこの年度末に条例も決めて1日から施行しますというのは、不親切ではないかなと思うんですけども、その辺はいかがですか。

○産業課長（吉田一久君） 議長、産業課長。

○議長（千葉 隆君） 産業課長。

○産業課長（吉田一久君） 予算が決まってからというようなことではなくて、本来であればきちんとした手続きを僕のほうで失念していたということでございます。全くもって言い訳するわけはありませんけれども、僕のほうでその辺が抜けていたということでございまして、決して予算がついたから慌ててということではないということで、この施設については4月1日付で既に道のほうから譲渡契約を結ぶというそういった運びになりまして、常任委員会でもご報告させていただいたところでございまして、ただし4月1日から供用を開始すると。その際に必要な条例がないということに、本当に申し訳ないんですけども、議会が終わってから気付いて、その辺につきましてはご理解のほうをよろしくお願いいたします。

○議長（千葉 隆君） よろしいですか。

○1番（赤井睦美君） はい。

○議長（千葉 隆君） ほかにありませんか。

○2番（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○2番（佐藤智子君） この条例制定が必要だと思って上げてきたと思いますけれども、推進室のほうは今後ずっと何年間も続くものとお考えなんですか。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） このサーモン推進室は2年ということで時限的に町から出向させて行うということになっております。

○2番（佐藤智子君） はい。

- 議長（千葉 隆君） 佐藤さん。
- 2番（佐藤智子君） その2年間は今、聞いて驚きましたけれども、その先はどういうふうにお考えなんですか。
- 町長（岩村克詔君） 議長、町長。
- 議長（千葉 隆君） 町長。
- 町長（岩村克詔君） この2年間は集中的に2年、道の派遣を受けて北海道並びに国の調整などしながら、あくまでも産業課が引き継ぐか、もしくは水産課が引き継ぐということになり、今までどおりですね、これはあくまでも推進室がありながら産業課もサポートしていますし、水産課もサポートしているということで内示をしていますので、今までと変わらないということで、ただし集中的に2年間やるということで、ご理解をいただきたいと思います。
- 議長（千葉 隆君） ほかにございませんか。
- 5番（関口正博君） はい。
- 議長（千葉 隆君） 関口君。
- 5番（関口正博君） 管理運営は八雲町とするという今回の条例でございしますが、その技術的なことというのは、青森の民間業者のほうから募集いただくということだと思います。今回、予算委員会、議会定例会において、事業費内訳のほうを出していただきましたが、種卵購入費はあるけれども、要は労務費というんですかね。その種苗施設に関わる人件費というか労務費、事務方の人件費は出てるんですが、そのようなものは一切ないんですけれども、その辺はどういうお話になっているんですかね。
- 産業課長（吉田一久君） 議長、産業課長。
- 議長（千葉 隆君） 産業課長。
- 産業課長（吉田一久君） 4月1日から施設の管理運営の部分でございしますが、現在2名のものを雇用する予定で、4月1日からは、現在、さけます内水面水産試験所道南支場の場長さん。こちらの方、これまでサクラマスのふ化放流事業に携わってきた技術者でございまして、定年を迎えられるということで、4月1日から町のほうで会計年度任用職員ということで雇用する予定でございします。その他、通年の臨時職員を1名、プラス繁忙期に臨時雇用ということで、そういった部分の予算も見て対応しようと考えているところでございします。
- 11番（斎藤 實君） はい。
- 議長（千葉 隆君） 斎藤さん。
- 11番（斎藤 實君） 僕、3月定例会で条例がなくて、ですから水産課とか産業課にこれを置くだなと思って、僕は理解したつもりなんですよ。条例で出てきていますので。ただ、今これは2年間、その後は産業課か水産課に預けるという考え方に示されましたけれども、そうであれば条例がなくても、ある程度そういう格好でできるんじゃないですか。
- 町長（岩村克詔君） 議長、町長。
- 議長（千葉 隆君） 町長。
- 町長（岩村克詔君） 斎藤議員ですね、2年間はサーモン推進室の話ですから、条例は残るということです。それで理解できればなど。
- 11番（斎藤 實君） はい。
- 議長（千葉 隆君） 斎藤さん。

○11 番（斎藤 實君） そのところはわかるんだけど、理解するんだけど、ただ、予算的にみて、条例なくてもやれる方法ってあったんじゃないのかなという受け止め方をするんですけども。

○産業課長（吉田一久君） 議長、産業課長。

○議長（千葉 隆君） 産業課長。

○産業課長（吉田一久君） こういった施設の管理にあたりましては、ほとんど設置条例を設けまして、その条例の目的ですとか内容に従って施設のほうを運営してきたと。いわゆる行政財産ということで管理してきたということございまして、これまでいろいろな施設、産業課でも所管してございますが、それぞれについて、こういった条例があるということで、ご理解のほうをお願いしたいと思います。

○11 番（斎藤 實君） そのところは理解してるつもりだけれども、なんとなくすっきりいかない。

○議長（千葉 隆君） よろしいですか。ほかに。

○7 番（倉地清子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 倉地さん。

○7 番（倉地清子君） 条例の制定が先だと私、今初めて知ったので、逆にこれから先の勉強になりました。あと、定例会の本会議で私反対の立場でいさせていただきましたけれども、決定した以上、今度は前に向く方向で考えていきたいと思っていますので、そのことを伝えたかったので、よろしく願いいたします。

○議長（千葉 隆君） ほかにないようですので、あとは本会議場で対応してきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

それでは報告事項はこれで終わらせていただきます。

◎ その他

○議長（千葉 隆君） それではその他、何かありませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） なければこれで終わらせていただきます。ご苦労様でした。

[閉会 午前 9時45分]